

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	イラク北部2郡の小学校の教育環境の改善およびドホーク州の学校運営能力の向上
(2) 事業内容	<p>(ア) 小学校改築事業 (11月17日現在)</p> <p>(a) アクレ郡ギルダセン地区ベビーナヴァ村小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6教室校舎(職員室、倉庫、トイレ含む)の建設: 天井スラブ打設作業完了、排水管や電気配線工事開始。 <p>(b) アクレ郡ギルダセン地区シーブラザン村小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6教室校舎(職員室、倉庫、トイレ含む)の建設: 天井スラブ打設作業完了。 <p>(c) アルビル市ダラトゥ地区ダラトゥ町ダスタン小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6教室の増築工事:1階天井および2階の柱部分への打設作業完了。 ・職員室2部屋(倉庫2部屋含む(※1))の増築工事: 外壁へのコンクリート塗装ならびに窓枠設置作業の開始。 <p>[※1]本小学校より、職員室2部屋の増築部分に書類等を保管するための鍵のかかる倉庫を2部屋増設してほしいという依頼があった。現地教育局と協議の結果、増築する職員室2部屋の面積を少し広げ、それぞれの部屋に倉庫用スペースをコンクリートブロック壁で仕切って増設することで対処することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存校舎の修復工事:多目的室以外は修復工事完了。 <p>(d) 上記3校へ机、椅子、職員用デスク等の整備: 本事業開始前に各校より提出されていた必要な学校用家具・機材リストについて再度確認を行った。</p> <p>(イ) 学校運営能力向上トレーニング事業</p> <p>現地教育局との連携のもと、本事業対象地域のドホーク州において本トレーニングのマスタートレーナーを養成するため、国際専門家を招聘し、第5フェーズのPartIまで実施した(11月14日現在)。</p> <p>[第1フェーズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月24日～7月27日:国際専門家・弊団体の覚書締結、現地教育省・教育局・国際専門家・弊団体間で調整会議、国際専門家によるマスタートレーナー選定のための基準の作成などを実施。 ・7月28日～30日:現地教育局によりドホーク州の各郡・地区がなるべくカバーできるように選ばれた50名の中から、学校規模・地域、校長・副校長(※2)としての経歴、年齢、ジェンダー、アラビア語能力、トレーニング全日程に参加できること、本トレーニングへの関心度などについて、国際専門家が各々にインタビューを行い、校長21名、副校長4名の計25名(内、女性は7名)をマスタートレーナー候補として選定。 <p>(※2)本事業承認後、現地教育省と現地教育局の要請により、校長に加え、当初予定していた現地教育局教育監督者ではなく副校長をマスタートレーナーとし</p>

	<p>て養成することとなった。</p> <p>[第2フェーズ・第3フェーズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月～9月下旬：実態をさらに理解するためのアンケート作成。 ・9月29日～30日：候補者25名に対し実施したオリエンテーションでは、同州の実態に合わせたトレーニング教材作成のための情報収集の一環として候補者を対象としたアンケート調査を実施。また候補者が抱えている学校運営の問題や習得したい能力/スキルについて活発な意見交換が行われ、そのうち、10つのトピックに焦点をあてたトレーニングを第5フェーズで実施することで決定。第5フェーズのトレーニング後に同トレーニングの習得度をはかるため、10つのトピックについての現時点での知識・理解度について事前テストを実施。 <p>[第4フェーズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月：国際専門家によるマスタートレーナー養成トレーニング内容と教材の作成、教材のアラビア語への翻訳および印刷作業実施。 <p>[第5フェーズのPart I]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月11日～14日：10つのトピックの内、「コミュニケーションと会議運営」、「学習における認知領域」、「学習における情動領域」、「年間授業計画」、「学級運営・施設の改善・職員関係の改善」の5つの能力/スキルを向上するためのトレーニングを実施。研修後半は25名の習得度・理解度をはかるため、1人1トピックを他の24名に対してトレーニングするという実習も行った。
<p>(3) 達成された効果</p>	<p>(ア) 小学校改築事業</p> <p>【工事進捗】(以下の%は工事の達成率)</p> <p>(a) アクレ郡ギルダセン地区ベビーナヴァ村小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6教室校舎(職員室、倉庫、トイレ含む)の建設：<u>40%</u> <p>(b) アクレ郡ギルダセン地区シーブラザン村小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6教室校舎(職員室、倉庫、トイレ含む)の建設：<u>36%</u> <p>(c) アルビル市ダラトゥ地区ダラトゥ町ダスタン小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6教室と職員室2部屋(倉庫2部屋含む)の増築工事：<u>60%</u> ・既存校舎の修復工事：<u>90%</u> <p>多目的室以外は修復工事が完了し、修復されて新しくなった教室で生徒たちが意欲的に学習に取り組めるようになった。</p> <p>(d) 上記3校へ机、椅子、職員用デスク等の整備：<u>0%</u></p> <p>(イ) 学校運営能力向上トレーニング事業</p> <p>マスタートレーナー候補者からは「トレーニングのトピックは、どれも明日から学校運営に応用できそうなのでさっそく使ってみたい」、「自分たちが学校運営で日ごろ直面している問題を他の候補者と共有するだけではなくその解決策を皆で議論し、また解決するためのスキルを習得できて嬉しい」、「今まで知りえなかった新しい考え方やアプローチを知ることができて感動している」、「教育現場のニーズに即してトレーニング内容が構成されているのと、講師と候補者の間で盛んなディスカッションも行われ</p>

	<p>るなど終始インタラクティブなトレーニングなので、長時間のトレーニングにもかかわらず、まったく飽きが来ず、もっと学びたいという気持ちになったのは久しぶりだ」、「トレーニングで習得するスキルは教師だけではなく生徒たちのより良い学びを生み出すために効果的であるということが分かった」というポジティブな感想が集まっている。マスタートレーナー候補者の多くがトレーニング中・休憩時間・トレーニング終了時に講師に熱心に質問をする姿や、候補者計 25 名が基本毎日トレーニングに参加していることから候補者の同トレーニングに対する高い関心とやる気がうかがえる。</p>
<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>(ア) 小学校改築事業 計画どおり工事が完了できる見込みであるが、引き続き進捗管理をしながら注視していく。また、上記 3 校への机、椅子、職員用デスク等については計画どおり各々の工事完了後に整備を行う。</p> <p>(イ) 学校運営能力向上トレーニング事業 第 5 フェーズ の Part II (12 月中旬実施予定) では残り 5 つのトピック (学校運営、効果的な教授法、生徒の視点に立った授業方法論、保護者との共同作業など) についてトレーニングを行う。第 6 フェーズ (来年 1 月中旬～下旬実施予定) の習得度テストの結果によりマスタートレーナーの最終選定が行われ、第 7 フェーズ (2 月～4 月実施予定) のフォローアップ体制について現地教育局と協議し、第 8 フェーズ (4 月下旬～5 月実施予定) において総合評価を行う予定であり、本事業は計画通り完了できる見通しである。</p>